

平成28年度決算の概要

新公会計制度による初めての一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算では、財務諸表、貸借対照表などを盛り込んだ決算説明書を主に、各部ごとに審査を実施しました。

審査方法については、本会議において17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託・審査されました。また、4つの特別会計決算については、建設環境委員会、市民厚生委員会に付託・審査され、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

決算の特徴点について

問 新公会計制度の視点から見た決算の特徴について伺う。

答 貸借対照表では、流動資産が比較的多い一方で負債は少なく、将来になるべく負担を残さない財政運営を続けた成果が表れている。キャッシュ・フロー計算書では、財源確保に努めつつ行政支出を抑え、将来に備えて基金を積み立てた結果が表れている。このように、借入金に依存しない財政運営や経費削減の努力等、これまで言葉で説明していた取り組みが財務諸表で見える化ができた。経年比較や近隣との比較が可能になれば、より詳細な分析や有効活用が可能となる。

まちの魅力PR動画について

問 PR動画「What's UP Fussa(ワッツアップ フッサ)」は高い再生回数を記録した。実感した効果と、今後の課題等を伺う。

答 テレビや新聞などマスコミに多く取り上げられたことで、大勢の方に見ていただくきっかけができた。メディア露出による広告換算費は約4200万円。今後の課題だが、PRを継続していくには、よりよいものを作り続けなければならないことと、財源の確保などである。

福生駅西口駐車場について

問 福生駅から一、二分のところ民間の有料自転車駐車場ができており、

福生駅西口自転車駐車場は本来に必要なのかという声が地域から出ている。必要性や、公園など多目的な利用について、28年度は何か検討したのかについて伺う。

答 民間の自転車駐車場を利用されている方も多くいるが、28年度についてはこれまでの方針どおりでやっており、検討はしていない。

所有者不明の固定資産について

問 28年度に所有者不明となった固定資産は何件か。内容と併せて伺う。

答 通常、所有者の死亡が判明した段階で相続人代表者指定届の提出を依頼し、相続登記の手続きを経て新所有者へ課税する。届けがない場合は相続人を戸籍調査等で探し、相続人代表者の指定を行うが、相続人が存在しない場合や、相続人全員が相続放棄すると相続人不存在で所有者不明となる。28年度の所有者不明案件は4件で、相続人全員が相続放棄したことによる。

多摩地域観光資源広域活用協議会負担金について

問 負担金支払いの根拠と、団体の概要を伺う。

答 負担金額は、市長会の補助金の上限が500万円であることによるもの。協議会は、酒蔵があるあきる野市、青梅市、

シルバー人材センター支援事業について

問 仕事をしたくても、なかなか紹介してもらえない状況である。派遣や職業紹介も考えるべきでは。

答 就業形態の見直しによる多様な就業機会の提供については、28年度から就業拡大の一環として取り組んでいる。従来の請負契約では対応できなかった発注者の直接命令による作業や、発注者の従業員と一緒に働くことが可能となる労働者派遣事業を、東京しごと財団と連携して実施することとしPRに努めたが、契約締結には至らなかった。

プレイパーク事業の取り組みと成果について

問 取り組みと成果、子供の居場所としての特徴は。参加者の声についても伺う。

答 28年度より、市民主体の運営とした。1日プレイパークを7月と11月に実施し、多い時間帯で

7月は122人、11月は200人の来場があった。市民主体での会議開催や、新会員やボランティア、協力事業者等の増加も成果である。特徴は子供が自然と触れ合い自由な発想で遊ぶ場であるが、1日のみのイベント型では限界がある。また、参加者アンケートでは評価する声があった。

住宅建替促進事業について

問 28年度の助成状況や事業内容について伺う。

答 28年度は交付内定申請まで進んだ戸建て空き家が4件。助成金交付は過年度申請分も含め戸建

こども教室の効果について

問 28年度から設置されたが、その効果について伺う。

答 言語障害に対する専門的支援の必要な児童に

英語教育の成果について

問 成果が出ているように見えるが、生徒の状況について伺う。

答 28年度より福生市英語教育推進計画に基づき



▲平成28年度一般会計決算を起立採決で認定

平成28年度 各会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額 (翌年度繰越額)
一般会計	266億8,946万3,569円	255億7,651万8,126円	11億1,294万5,443円
特別会計			
国民健康保険特別会計	82億5,592万7,561円	77億6,668万4,582円	4億8,924万2,979円
介護保険特別会計	39億9,150万6,832円	38億947万4,977円	1億8,203万1,855円
後期高齢者医療特別会計	11億3,648万2,873円	11億1,948万837円	1,700万2,036円
下水道事業会計	17億2,685万1,101円	15億3,004万4,538円	1億9,680万6,563円
総合計	418億23万1,936円	398億220万3,060円	19億9,802万8,876円

平成28年度 一般会計決算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合

